

巴工業株式会社 2025 年 10 月期 第 2 四半期決算説明会  
質疑応答要旨(2025 年 6 月 27 日)

※主な質疑応答の要旨を記載しております。

Q:

機械事業における受注残の資料についてですが、前期末の説明会資料に記載されていた今期の受注残見込みと比較して、今回見通しが下げられているが何故でしょうか。

A:

ご質問の通り受注残の見通しが現時点では前期末より下がっておりますが、受注競争の中で取ったり取れなかったりということはあるものの、受注の状況が大きく変化しているということはありません。受注残の精度を高めるために現時点で確度の高い案件を積み上げていることで、少し保守的な数字となっている面はあるのではと考えています。

Q:

超低温ベルト乾燥機の販売については、現在、主に焼却設備が必要な下水処理場において、置き換えを狙うということでしょうか。

A:

汚泥処理における減容化の工程では現在、重油などを使用して焼却設備で汚泥を燃焼し、減容化する手法が主流となっています。

この機械は焼却設備を必要とせず、電気と水だけを使用して減容することで臭いも少なく、かつ脱炭素に貢献できるということで置き換えに限らず売り込んでおり、既に実験を行うなど良い反応を頂いているところです。

Q:

仮に超低温ベルト乾燥機の納入が増えていった場合、スイスのメーカーの生産能力は十分なのでしょうか。

A:

スイスのメーカーは海外輸出が主流と聞いており、昨今ですと香港に 1 年で 60 台納入した実績がございます。当社のターゲットである 500 カ所に一斉に販売するわけではありませんので、順次販売していく分には十分に対応可能ではないかと考えています。

Q:

大体何年くらいでターゲットの 500 カ所に浸透していくイメージなのでしょう。

A:

現時点では現場での実験を経てこれから販売を進めていく、という段階ですので、何年で何カ所という具体的なイメージまではできておりません。しかし手応えは感じており、案件にもよりますが機械は 1 台あたり 4～6000 万円、また必ず工事が伴うため 1 件あたり 1 億円以上という中で年間に 5 台 10 台と販売していくことを期待しています。

Q:

超低温ベルト乾燥機販売の利益率は高いのでしょうか。

A:

具体的な利益率をご容赦いただきたいですが、機械だけではなく、付帯設備を含めた工事が必要となり、人件費含めコストがかかるものですので、ある程度の利益はいただきたいと考えております。

以上